

令和13年(2031年)
第85回国民スポーツ大会
開催要望書

令和2年11月27日

奈良県
奈良県教育委員会
公益財団法人奈良県スポーツ協会

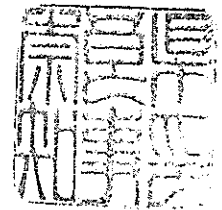
開 催 要 望 書

公益財団法人日本スポーツ協会会長 伊藤 雅俊 様

令和13年の第85回国民体育大会（スポーツ基本法の一部を改正する法律（平成30年法律第56号）の施行後の国民スポーツ大会）を奈良県において開催いたしたく、別添要望趣意書に奈良県議会の決議及び中地区各府県体育協会（スポーツ協会）の同意書の写しを添えて、ここに要望します。

令和2年11月27日

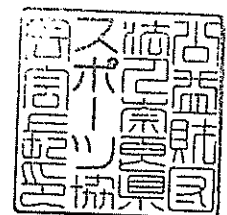
奈 良 県 知 事 荒 井 正 吾



奈 良 県 教 育 委 員 会 教 育 長 吉 田 育 弘



公益財団法人奈良県スポーツ協会会長 土 佐 忠 雄



要 望 趣 意 書

国民体育大会は、我が国最大のスポーツの祭典として、広く国民にスポーツを普及し、健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与してきました。

奈良県では、昭和59年、「駆けよ大和路 はばたけ未来」をスローガンに第39回国民体育大会「わかくさ国体」を開催しました。本県選手団の活躍や、県民総参加で大会を支えた自信と誇りは、その後の本県のスポーツ振興に多大な影響を与えるとともに、県勢発展の原動力となりました。

国民スポーツ大会を本県で開催することは、「だれもが いつでも どこでも スポーツに親しめる環境づくり」を推進し、スポーツ振興に寄与するとともに、本県が目指す「健康寿命日本一」の実現に大いに資するものと確信しています。また、来県される多くの方々に、本県が有する自然・歴史・文化の魅力を体感いただける絶好の機会になるものです。

国民スポーツ大会の招致は、スポーツ関係者をはじめ、県民をあげての強い願いであることを御賢察いただき、令和13年の第85回国民スポーツ大会を本県で開催できますよう格別の御高配をお願い申し上げます。